
彼方の恋人、鬼ごっこ。

來遠 秋

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

彼方の恋人、鬼ごっこ。

【Nコード】

N4407E

【作者名】

来遠 秋

【あらすじ】

連絡もつかない、何処にいるかもわからない。そんな恋人をひたすら待ち続ける私には、甘い恋の誘惑と、身を切る孤独が押し寄せて休む暇を与えないのです。

プロローグ「初めまして」

「君は彼氏いるの？」

私はその問いにはいつも自信を持ってこう答えるようにしています。

「はい。います」

「同じ大学の人？」

「いえ、わかりません」

「わからない、の」

不思議そうな顔をされるのも無理はありません。事情を知らない方にはきちんと説明するのが、親切というもの。

私は包み隠さず真実を打ち明けました。

「行方不明なのです」

——すると大概、私は溢れんばかりの痛ましい気持ちを込められた視線に包まれるのです。

私と恋人は今遠距離恋愛中なのです。

『どれだけ離れていて、どれだけ近いのかも定かではない距離恋愛』なのです。

皆様一言物申したい気持ちはわかっていますが、それはひとまず胸に秘めなさって。

行方不明の恋人との在りし日を胸に、私が過ごす日々をこれからお話しさせていただきたいです。

そして物語りの合間に、我が恋人へ宛てることができなかった――どこへ出していいかわからない手紙を添える無礼をお許しください。

さ迷う懸想文たちよ、ここに安らかに眠り賜え。アーメン。

では早速、一通捧げさせていただきます。

*

拝啓、恋人様。

あなたは今どこにいますか。誰と一緒にいて、どんな顔をしているのでしょうか。

あなたが私に連絡一つくだらないのには、それは大変な理由があるのでしょうかね。

神様があなたを悪戯に連れ回しているかのように消息は掴めず。さながら私は神様と鬼ごっこをしているよう。

それともあなた一人でうろつるなさっていらっしゃるのですか？

嗚呼、あなたとの連絡が途絶えて早数ヶ月。独りの私にはめくるめく恋の誘惑と、望みを絶つよう諭す言葉がひしめき合って襲ってくるのです。

一刻も早いお帰りを。願わくば、私に救いの手を。

敬具

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4407e/>

彼方の恋人、鬼ごっこ。

2010年11月29日07時58分発行